

9 書く活動についての説明

(1) 書く活動Ⅱ

①【既習の知識】

- ・ 相似な図形の性質
- ・ 相似な図形の相似比と面積比の関係。

【問い】

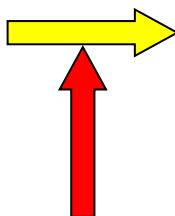
■ サイズと L サイズのピザのどちらがお得(割安)といえるだろうか。

②、③、④は順不同

推論・解釈

②【事実】

- ・ 相似な図形では、相似比 $m:n \Rightarrow$ 面積比 $m^2 : n^2$
- ・ それぞれのサイズと値段
- ・ 対応する辺の長さ
- ・ 相似比



④【主張】

L サイズの方がお得だといえる。

③【理由付け】 見方・考え方

実測した値から、MサイズのピザとLサイズのピザの相似比が $m:n$ なので、面積比が $m^2 : n^2$ となる。

また、Mサイズのピザの値段は○円なので、Lサイズのピザの値段を x 円として比例式をたてると、 $○ : x = m^2 : n^2$

これを解くと、 $x = \square$ 円となる。この解は問題にあっている。

Lサイズの実際の値段は■円なので、□円と比べると△円安くなっている。

(2) 書く活動Ⅲ〔学んだ内容・自分の考えの変容・学びの発展、転移性〕

※ 単元計画の三次の(5)において

まとめ

『何を』

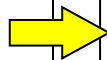
振り返り

『どのように』

『使えるか』

【これまで学んだことの明確化】

○実際の物を相似な図形として捉えたと、相似比と面積比や体積比の関係から両方を比較することができる。



【既習の学習と新しく学んだ考え方をつなげてまとめる】

【問い】

相似の考え方を具体的な場面で活用してみて、自分の考えがどう変わっただろうか。

○これまではあまり実際のものを相似な図形として捉えたことはなかったが、身の周りには相似な図形として捉えられる物があるということがわかった。

○重さなどがわからないときなどに、相似比と面積比の関係から比較できるようになりたい。